

(講座) 臨床薬学

(研究室) 薬物治療学

(氏名) 近藤新二

(職名) 准教授

### 【研究テーマ】

1. ヒト遺伝性疾患の原因遺伝子・疾患感受性遺伝子の解明
2. 口唇口蓋裂発症機序の分子遺伝学的解析
3. ゲノム医学的アプローチによる個別化医療の確立

### 【論文発表】

#### A 欧文

##### (A-a) 原著論文

1. Matsuzawa N, Kondo S, Shimozato K, Nagao T, Nakano M, Tsuda M, Hirano A, Niikawa N, Yoshiura K. Two missense mutations of the IRF6 gene in two Japanese families with popliteal pterygium syndrome. *Am J Med Genet A*. 152A(9):2262-7, 2010. (IF:2.404)

### 【学会発表】

#### A 国際学会

##### (A-b) 一般講演

1. K Sato, M. Shiota, Y. Narumi, S. Kondo, H. Machida, H. Isomoto, S. Kohno, K. Tsukamoto: A polymorphism in the proliferation-inducing ligand gene is associated with susceptibility to ulcerative colitis in the Japanese population, 18th United European Gastroenterology Week (UEGW) 2010, 10/23-27 (in Barcelona, Spain).

#### B 国内学会

##### (B-b) 一般講演

1. 福田 沙耶香, 佐藤 加代, 岩本 英子, 安次嶺 渚, 稲嶺 達夫, 近藤 新二, 峰 沙織, 川村 淳一, 本田 徳光, 町田 治久, 河野 茂, 塚元 和弘, SMAD7 は潰瘍性大腸炎の疾患感受性遺伝子である, 日本薬学会第 130 回年会, 2010, 3/28-30 (岡山)
2. 河内 歩美, 稲嶺 達夫, 比嘉 辰伍, 野口 扶美枝, 白川 弥生, 橋口 寿恵, 近藤 新二, 中村 稔, 石橋 大海, 大曲 勝久, 塚元 和弘, ABCG5/ABCG8 遺伝子は原発性胆汁性肝硬変の重症化感受性遺伝子である, 日本薬学会第 130 回年会, 2010, 3/28-30 (岡山)
3. 岩村 直矢, 宿輪 紀子, 峰 沙織, 稲嶺 達夫, 塚元 和弘, 近藤 新二, Van der Woude Syndrome, Popliteal Pterygium Syndrome 患者に由来する IRF6 遺伝子変異はその転写活性能を低下させる, 日本薬学会第 130 回年会, 2010, 3/28-30 (岡山)
4. 河内 歩美, 稲嶺 達夫, 白川 弥生, 橋口 寿恵, 宇田 さやか, 岡部 優里, 近藤 新二, 中村 稔, 石橋 大海, 大曲 勝久, 塚元 和弘, ASBT 遺伝子は原発性胆汁性肝硬変の進行に関与する, 第 27 回日本薬学会九州支部大会, 2010, 12/11-12 (長崎)

5. 上野 まどか, 門脇 彩香, 高比良 理愛, 稲嶺 達夫, 近藤 新二, 中村 洋一, 河野 茂, 塚元 和弘, 肺腺がん患者における EGFR 変異や K-ras 変異と gefitinib による治療効果との相関解析, 第 27 回日本薬学会九州支部大会, 2010, 12/11-12 (長崎)
6. 岩村 直矢, 宿輪 紀子, 加来 菜津美, 稲嶺 達夫, 塚元 和弘, 近藤 新二, VWS, PPS 患者でみられる転写因子 IRF6 変異は転写活性能を低下させる, 第 27 回日本薬学会九州支部大会, 2010, 12/11-12 (長崎)
7. 福田 沙耶香, 安次嶺 渚, 山下 愛理沙, 稲嶺 達夫, 近藤 新二, 町田 治久, 河野 茂, 塚元 和弘, IRF5 はクローン病の疾患感受性遺伝子である, 第 27 回日本薬学会九州支部大会, 2010, 12/11-12 (長崎)

### 【研究費取得状況】

1. 狭隅角緑内障の疾患感受性遺伝子解析  
基盤研究(C) 日本学術振興会

### 【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	27 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	2 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	1 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	1 件		